

AKY-NV-X 専用常時電源ケーブル

AKY-NV-X専用常時電源ケーブルを接続して、駐車監視モードに入ります。



常時電源ケーブルを使用すると、車両バッテリーの消費電力が多くなりますので、ご注意ください。また、常時電源ケーブルの接続を誤ると、バッテリー上がりの原因となりますので、ご注意ください。

〈ご注意(あらかじめご了承ください)〉

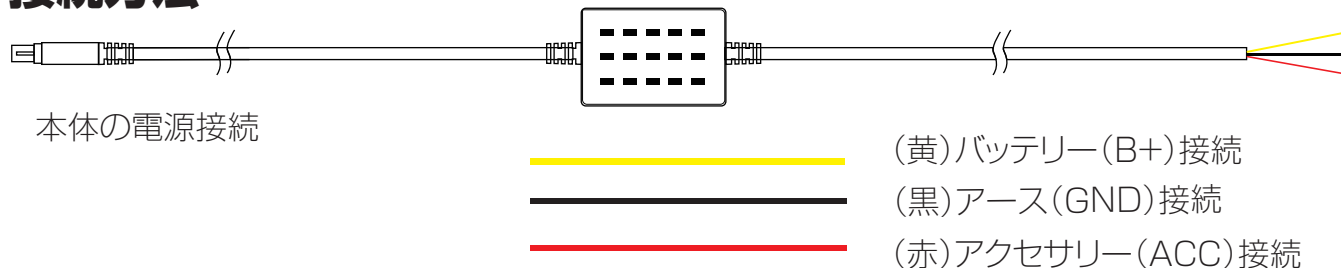
常時電源ケーブルご使用の場合、車両のバッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。

本製品を使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負い兼ねます。

〈常時電源ケーブル接続時の動作について〉

- 駐車監視の設定が「オフ」の場合：
エンジンを停止すると、本機の電源がオフとなります。駐車監視モードには切り替わりません。
- 駐車監視の設定が「オン」の場合：
エンジンを停止すると、一度電源がオフとなり、その後、駐車監視モードに自動的に切り替わります。駐車監視モード中、車両のバッテリー電圧が一定の電圧に降下すると、車両バッテリーからの電源供給を停止し、本機の電源がオフとなり、駐車監視モードは終了します。
※ 車載バッテリー電圧が12V車は 11.6V で 24V車 は 22V まで低下すると、作動が停止します。

接続方法



駐車監視時の衝撃感知録画について(P衝撃感知録画)

- 車両エンジンをオフ (ACC オフ) すると、約1分後に駐車監視モードに入ります。
- 駐車監視モードに入る場合、搭載されたGセンサーが衝撃を感知すると、自動的にP衝撃感知録画を行います (約30秒間、この間何度衝撃しても録画時間はこの30秒です、長くなることできない)。
- 録画終了後は、再び、P衝撃感知録画駐車監視モードに移行します。
- 車両エンジンを始動 (ACC オン) すると、本機の電源がオンとなり、ループ (常時) 録画が開始されます。



駐車監視設定について

- 駐車監視録画を行うには、設定メニューの「駐車監視」をオン・オフのいずれかに設定してください。「オフ」の場合は、駐車監視モードに切り替えることができません。

ご注意:

- P衝撃感知録画は、衝撃を感知してから録画を行います。感知前の録画は行いません。
- P衝撃感知録画中(30秒間)に再度電源オンをしたら、30秒間を録画してから、自動的に常時録画を継続します。
- P衝撃感知録画中、カードを取り出すと、本機の電源がオフとなり、駐車監視モードは終了します。
- シガー電源ケーブルを接続する場合は、駐車監視モードには切り替わりません。

お問い合わせ: サポートセンター

LINE



help@akeeyo.co.jp

9:30-19:00(土・日・祝祭日・年末年始除く)